

2018年3月27日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

「仙台空港 旅客ターミナルビル総合管理業務」を受託

～地元企業との協業による地域経済の活性化を目指す～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、仙台空港の旅客ターミナルビル総合管理業務を仙台国際空港株式会社より受託し、2018年4月1日より業務を開始いたしますのでお知らせいたします。

・ 仙台空港について

仙台空港は仙台空港特定運営事業等（PFI事業：コンセッション方式）により、国管理空港としては初めて民営化されました。2016年7月1日からSPC事業者である仙台国際空港株式会社により、空港運営事業が開始されました。



・ 当社受託業務について

このたび、当社は仙台国際空港株式会社より旅客ターミナルビル総合管理業務（①統括管理業務 ②設備管理業務 ③警備保安業務 ④清掃業務 ⑤その他個別委託業務）を受託し、2018年4月1日から業務を開始いたします。

当社では、2006年3月から「北九州空港」、2009年6月から「富士山静岡空港」での維持管理業務等を行っております。他の空港関係施設の維持管理業務での経験やノウハウを活かした効率的な業務を行い、安全・保安体制の強化はもとより、利用されるお客様の安全性・快適性の向上に寄与してまいります。また、各種業務については地元企業への委託・協業を進め、地域経済の活性化にも貢献してまいります。

・東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行っている総合不動産管理会社です。マンションで33万戸、ビルで1,100件の管理実績があります。その他、行政施設（指定管理者・PFI等）でのホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設など様々な用途の維持管理運営実績もございます。これらの実績で培ったノウハウを仙台空港に活かして、地域社会に貢献する効率的かつ高品質なサービス提供を追求してまいります。

【仙台空港特定運営事業等概要】

空港設置・管理者	: 国土交通省 航空局
事業方式	: PFI事業（コンセッション方式）
PFI事業者	: 仙台国際空港株式会社
株主企業	: 東京急行電鉄株式会社、前田建設工業株式会社、豊田通商株式会社、東急不動産株式会社、株式会社東急エージェンシー、東急建設株式会社、株式会社東急コミュニティー
事業期間	: 2016年2月1日～2045年11月30日（当初30年間）
（旅客ビル施設事業）	オプション延長30年 不可効力による延長を含めて最長65年以内

【当社受託業務】

業務内容：仙台空港 旅客ターミナルビル総合管理業務
（①統括管理業務 ②設備管理業務 ③警備保安業務 ④清掃業務
⑤その他個別委託業務）
受託期間：2018年4月1日～2019年3月31日